

平成 24 年度事業計画

1 平成 24 年度活動方針

- (1) 医療やリハビリテーションの現場ニーズに基づく会員企業の研究開発を推進する。
- (2) B N C T (ホウ素中性子捕捉療法) に関連した情報提供を拡充する。
- (3) 分野に関連した研究者との交流を促進し、共同研究を促進する。
- (4) 大手医療機器メーカーや県内中堅企業等との交流を拡充する。
- (5) いばらき産業大県創造基金等の競争的資金の獲得を推進する。
- (6) 薬事法の製造販売業、製造業の許可や I S O 認証取得を推進する。

2 平成 24 年度事業計画

(1) 技術力向上

ア 医療やリハビリテーション現場のニーズに基づく研究開発

- ① 平成 23 年度に実施した医療ニーズ調査等を活用し、会員企業と医療従事者・大学・公設試など産学官の連携により、ニーズに基づいた研究開発を行い、必要に応じてテーマごとに分科会を設置する。

- | |
|---------------------------|
| テーマ① 嚥下機能評価装置 |
| テーマ② 車椅子用テーブル |
| テーマ③ 整形外科向けスマートフォンソフト |
| テーマ④ 褥瘡防止マット・枕 |
| テーマ⑤ 医療現場のコンピュータ操作のタッチレス化 |
| テーマ⑥ 根管治療用器具 (歯科用) |

- ② 医療現場ニーズの発表会

「ニーズ」・「マーケット」・「実現可能性」の高いニーズについて発表会を開催し、会員企業と医療従事者・大学・公設試等と連携した研究開発に繋げる。

・時期：6 月頃

・講師：ニーズ提供者 (医師・看護師・理学療法士等)

- ③ 研究開発状況の医療機関へのフィードバック

会員企業の研究開発の状況について、ニーズ提供者である適時医療機関へフィードバックし、医療機関との関係構築を図る。

- ④ 臨床工学技士・臨床検査技師等からのニーズ収集

関連団体と連携し検査部門のニーズ収集を強化する。

イ 薬事法分科会

- ・県薬務課と連携し、医療機器の製造に当たって必要となる、薬事法の製造販売業や製造業の許可取得を支援する。

(2) 情報提供（講演会等）

ア B N C T（ホウ素中性子捕捉療法）に関連した情報提供

- ① いばらき量子ビーム研究センター内に設置する小型加速器の説明及び見学会
 - ・ 場所：いばらき量子ビーム研究センター
 - ・ 時期：1 2月頃
- ② 福島県で実施するB N C T開発・実証事業の説明及び見学会
 - ・ 場所：南東北病院等（福島県郡山市）
 - ・ 時期：2月頃

イ 異分野からの医療機器分野への参入に関連した情報提供

- ① 参入に必要なポイント解説
 - ・ 特定N P O法人医工連携推進機構理事 西尾治一氏
 - ・ 8月2日（木） ㈱つくば研究支援センター
- ② 異分野から参入した中小企業
 - ・ (株)スズキプレシオン（栃木県鹿沼市）
精密加工技術を活かして、内視鏡手術用のデバイス等を生産
 - ・ 9月26日（水） ㈱つくば研究支援センター

(3) 大手企業等との交流

ア 大手医療機器メーカーとの交流（工場見学会，交流会等）

時期：1 1月頃

イ 大手分析装置メーカーとの交流（工場見学会，交流会等）

時期：2月頃

(4) その他

ア 産業大県創造基金等の競争的資金獲得のため，中小企業振興公社等への申請を支援する。

イ つくば医工連携フォーラムへの出展

時期：1月頃